

「Bestever® ぬいぐるみの猫（足が折れた）」の修理

2024.2.25

生駒の田中

1 特徴・外観



- ベストエバー製のぬいぐるみの猫です。



- お腹にマイクがあり、オウム返して話しながら動きます（二足歩行）。

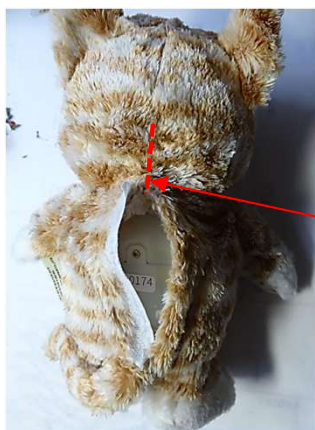
2. 故障内容

- 右足が折れていますが、その他には異常がありません。

3. 修理の方法

3-1. ぬいぐるみを剥がす

- 背中には電池を入れるための開口部（マジックチャックで閉じる）がありますが、そこを全部開いても中のギアボックス全体を取り出すことができません。
- そこで、頭部側の縫い糸をリッパーで切り開口部を広げます。



糸を切る

背中
の開口部分

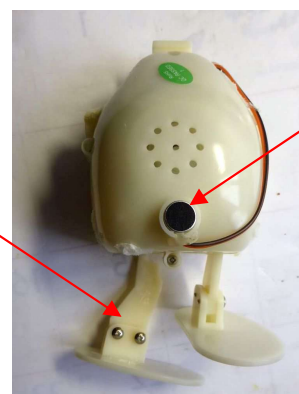


広げた開口部分

- ぬいぐるみの中から本体を取り出します。



スポンジで包まれた本体



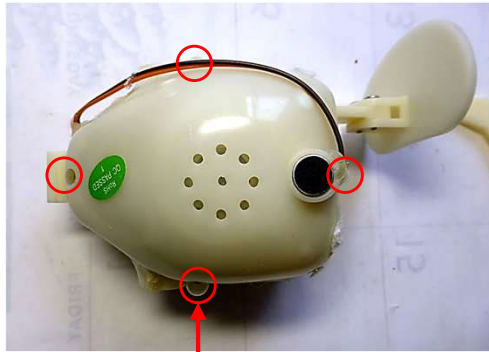
折れた足

マイク

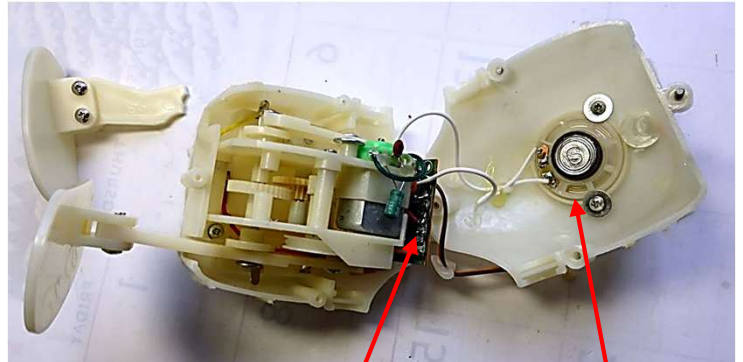
スポンジを剥いだ状態

3-2. 本体の分解

- 胴体の上下と左右にある4箇所のねじを抜き胴体カバーを外します。
- 胴体の中にはギアボックスと駆動回路基板が組み込まれています。



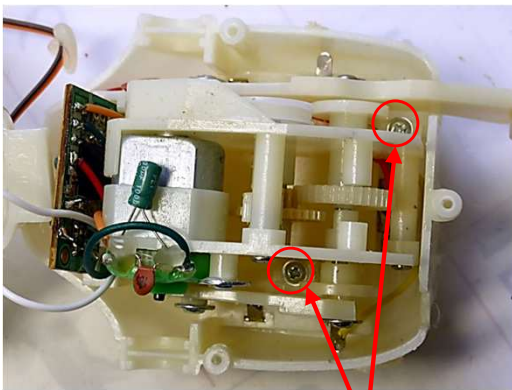
4本のねじ



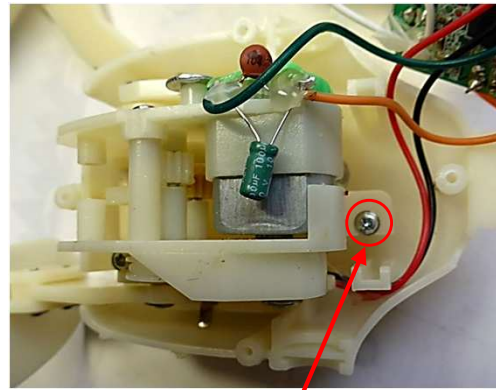
駆動回路基板

スピーカー

- ギアボックスを取り出すには、3箇所のねじを外します。
1本は回路基板の下に隠れています。

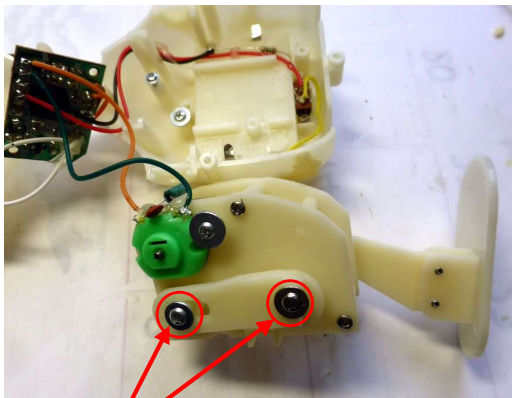


2本のねじ



基板下のねじ

- 折れている右足はワッシャー付の2本のねじを抜くと外れます。



2本のねじ

取り出した駆動部分



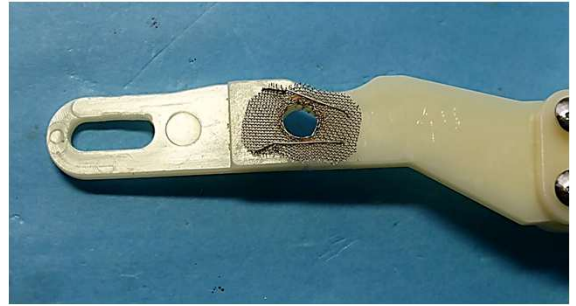
折れている右足

3-3. 折れた足の修理

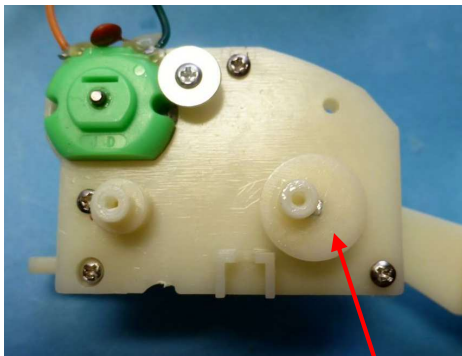
- 折れた箇所をステンレス線で縛るだけでは、面方向の強度が弱いので補強として薄いメッシュの板を貼り縛ります。
- 足の内側の面はカムの摺動面に当たるのでステンレス線は外側で締めます。
- ステンレス線で縛った後にメッシュ面に薄く接着剤を塗布して強度を高めます。



ステンレス線を通す穴を開けておく



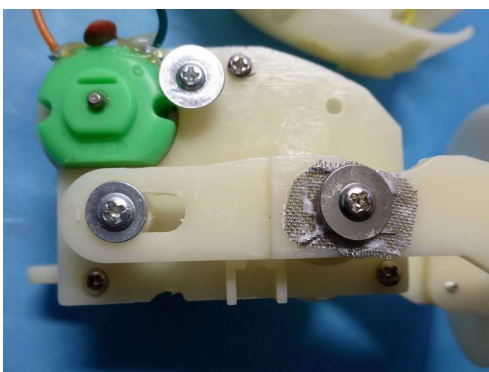
メッシュ板にステンレス線を通して縛る



カムの摺動面



カムの摺動面に当たる面



4. 組立・修理完了

- 修理した足を取付いたら電池を入れて異常なく動くかを確認します。
- 問題が無ければ本体を組立て、ぬいぐるみの中に戻します。
- 切り開いた部分を糸で縫い合わせたら修理は完了です。